

科目名		環境工学			
担当教員		野口 信彦		実務授業の有無	○
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築計画と自然環境の関わりを理解し、快適で目的に応じた建築計画について学ぶ。 1. 前期は「建築環境の明るさと物の見え方」と「建築物の温熱環境」について理解する。 2. 建築環境における具体的な工夫について学ぶ。 3. 小テストを適宜行い、理解度を確認する。			
学習目標 (到達目標)		建築空間を取り巻く外部環境や内部環境について理解し、安全で快適な建築空間を作るための知識を習得する。建築士の学科試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築環境			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備・備考	
1	視覚と光 ①光の単位 ②光によって生じる視覚の変化。			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①②の予習	
2	昼光、人工照明、照明計画 ①日照及び人工照明による照明計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
3	色の効果 ①色彩によって生じる様々な効果。			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
4	色の表示と表色系 ①表色系の種類と構成			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
5	体感温度と温熱環境指数 ①暑さ・寒さの感覚と、それを示す温熱環境指数			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末試験	小テスト			住環境で身近に起きている現象を掘り下げて科学的にとらえて理解し、建築計画に活用できるようにする。また適宜、小テストを行い習得状況の確認する。	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計事務所にて設計業務に11年従事			